



美しい 県土づくりNEWS

2018年
5月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第166号
平成30年5月31日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 6月22日 宮古・室蘭フェリー航路がいよいよ開設!
- 3 外国船社運航クルーズ船「スター・レジェンド」宮古港へ初寄港!!
- 4 釜石市を守る釜石港湾口防波堤が完成
- 6 大船渡市「大船渡駅周辺地区第3期まちびらき」
- 8 築川ダム建設工事 堤体コンクリート打設10万㎡到達!
- 9 みんなで防ごう土砂災害! ~6月は土砂災害防止月間です~
- 11 復興道路等の整備による「ストック効果」を紹介します!
~ラグビーワールドカップ2019TMの釜石開催を支援~

三陸復興

6月22日 宮古・室蘭フェリー航路がいよいよ開設!

岩手県宮古港と北海道室蘭港を結ぶ、岩手県初のフェリー定期航路が6月22日に就航します。5月23日には、岩手県庁で、カウントダウンボード設置式とPRキャラバン隊出発式を行い、30日後に控えた航路開設を前に、機運の盛り上げを図りました。



保 副知事と石川 沿岸広域振興局長がカウントダウンボードにそれぞれ「3」・「0」のボードを差し入れ、30日後に迫った航路開設を盛り上げました。

写真は左から、戸舘 商工労働観光部長、保 副知事、石川 沿岸広域振興局長、中平 県土整備部技監。

フェリーの利用促進に向けてキャラバン隊がPR

カウントダウンボード設置式後、フェリー航路を報道機関等にPRするキャラバン隊の出発式を行いました。出発式では、キャラバン隊の石川局長から「航路誕生は沿岸部の復興と県内の産業の活性化につながる。フェリーの魅力を伝え県民や企業の利用につなげたい」と、フェリー航路PRへの意気込みを述べ、保副知事からは、「フェリー航路開設により人と物の大きな流れが生まれる。多くの方に使ってもらえるよう、キャラバン隊の活躍に期待している。」と激励が送られました。

沿岸地域では、復興道路の整備が着実に進んでいます。岩手県と北海道が、航空機、新幹線、そして新たにフェリー航路でダイレクトにつながることにより、観光面・経済面で大きなチャンスが広がり、本県の経済活性化がおおいに期待されます。

今後も、関係機関と連携しながら、フェリー航路のPR活動を行っていきます。



保副知事がキャラバン隊を激励



キャラバン隊にPRのぼりを手渡し

宮古・室蘭フェリーの概要

- 《就航日》 平成30年6月22日(金)
※第1便は宮古港から出航
- 《時刻表》 宮古 8:00 発→室蘭 18:00 着
室蘭 20:00 発→宮古 6:00 着
※所要時間 10 時間

《船舶》シルバークイーン

- (運航会社：川崎近海汽船株式会社)
- 【総トン数】7,005トン
- 【全長】134m
- 【航海速度】20.7ノット(時速約38km)
- 【車積積載能力】
 - トラック：69台(12m換算)
 - 乗用車：20台
- 【旅客定員】600名
 - 特等室10名(2名×10室)
 - 1等室88名
 - (洋室4名×17、和室4名×5)
 - 2等寝台66名、2等室362名
 - ドライバーズルーム80名



外国船社運航クルーズ船 「スター・レジェンド」宮古港へ初寄港!!

港湾課

スター・レジェンド



5月6日(日)に、外国船社が運航するクルーズ船「スター・レジェンド(全長134m、総トン数9,975t、乗客定員212人)」が宮古港に初めて寄港しました。5月上旬にクルーズ船3隻が相次いで宮古港に寄港するなか、外国船社が運航するクルーズ船の寄港は10年ぶりとなります。

スター・レジェンドは、宮古港に朝6時30分頃に着岸し、多くの市民らが10年ぶりの外国船社運航クルーズ船の入港を歓迎しました。今回の寄港では宮古市内の中高生や専門学生、通訳ガイドなど計106名がボランティアとして、外国人観光客の市内観光をサポートしました。

また、出港に際して行われたセレモニーでは、さんさ踊りや郷土芸能が披露され、大いに盛り上がりました。そして出港時には、500人近い市民らが、大漁旗の掲げられたスター・レジェンドの出港を見届けました。

6月22日(金)には宮古・室蘭フェリー航路が開設予定で、さらに来年4月には米国の船会社が運航する大型クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス(全長290m、総トン数11万5,875t、乗客定員2,706人)」の寄港が決定するなど、本県の港はより一層活気付いていきます。

特に、ダイヤモンド・プリンセスのような10万トンを超える大型クルーズ船の寄港は本県初となることから、地元宮古市等と連携し、お越しいただく皆様に三陸・岩手を満喫していただけるよう、準備を進めています。



入港歓迎セレモニーでの花束贈呈



出港時、手を振る乗客



出港セレモニーでのさんさ踊り

◆今年度の寄港予定

船名	入出港日時
にっぽん丸	久慈港 7月13日(金) 8:30入港 9:30出港
ばしふいつく びいなす	宮古港 7月14日(土) 10:00入港 17:00出港
にっぽん丸	大船渡港 9月16日(日) 8:00入港 11:00出港
にっぽん丸	大船渡港 9月18日(火) 16:00入港 17:00出港
スター・レジェンド(海外船社)	宮古港 9月24日(月) 12:00入港 18:00出港
飛鳥II	大船渡港 9月25日(火) 8:00入港 17:00出港
ばしふいつく びいなす	大船渡港 10月13日(土) 8:00入港 17:00出港
飛鳥II	大船渡港 10月15日(月) 8:00入港 17:00出港

津波からの減災と静穏度向上に資する 釜石港湾口防波堤が完成

港湾課

平成30年4月30日(月)、国土交通省、岩手県、釜石市の共催による「釜石港湾口防波堤完成式」が開催されました。

完成式の開催に先立ち、オープニングアトラクションとして、釜石市の指定文化財に登録されている錦町虎舞が披露され、式典には高橋国土交通大臣政務官、達増知事、野田釜石市長のほか、鈴木 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣や地元選出国會議員、県議會議員及び地元関係者など約130人が出席しました。

式典では、世界のラグビー関係者からの釜石港湾口防波堤の完成を祝うビデオレターが上映され、2019年に釜石市でラグビーワールドカップ開催を控え、釜石市の復興への関心の高さが示されました。

釜石港湾口防波堤完成式



高橋国土交通大臣政務官 挨拶



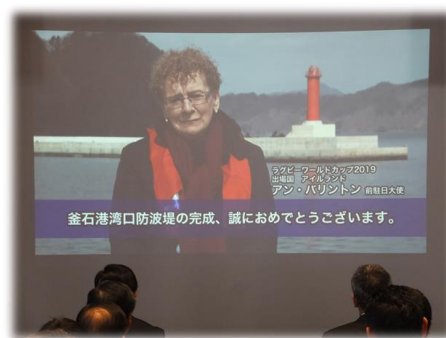
達増知事 挨拶



野田釜石市長 挨拶



錦町虎舞



ビデオレター上映



完成した湾口防波堤が描かれた懸垂幕の前でテープカット

湾口防波堤の概要と被災状況

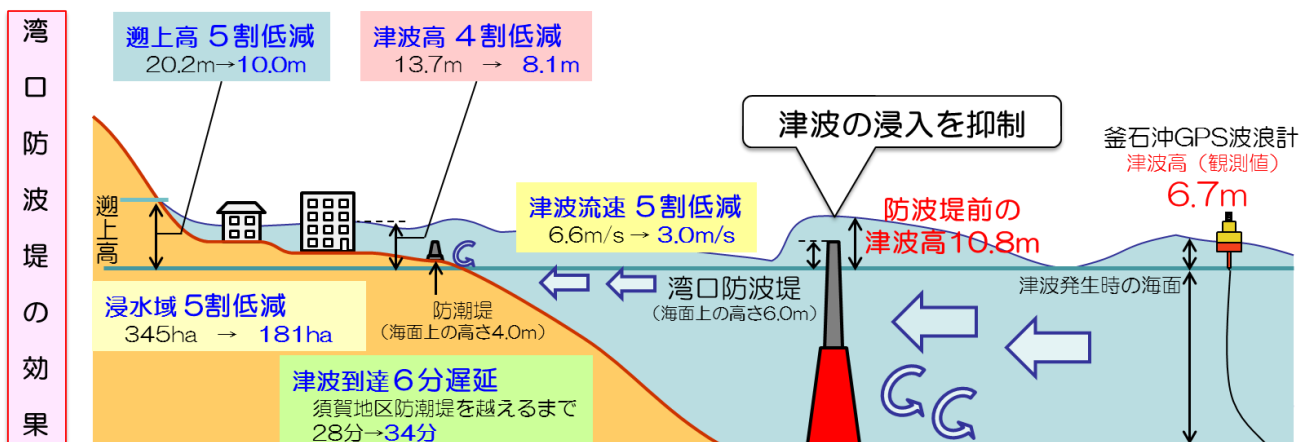
釜石港湾口防波堤は、津波被害から生命や財産を守るとともに、港内静穏度の向上による安全な港湾荷役などを目的に、昭和53年から約30年の整備期間を経て平成21年3月に完成しましたが、東日本大震災津波の際に大きく被災し、北堤のケーソン全44函のうち37函（延長870m）と南堤のケーソン全22函のうち12函（延長370m）、開口部潜堤のケーソン全11函（延長300m）が倒壊、傾斜する被害を受けました。



北堤の倒壊状況

湾口防波堤が発揮した減災効果

東日本大震災津波の際には、湾口防波堤があったことで津波の浸入を抑制し、流速は5割、津波高は4割、遡上高を5割低減し、防潮堤を越えるまでの時間を6分遅延させ、浸水域も5割低減する減災効果を発揮しました。

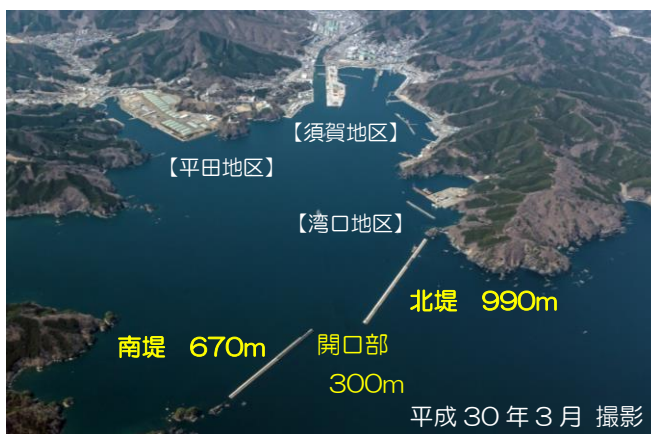


※ シミュレーション結果等による

釜石港湾口防波堤の完成

被災した湾口防波堤は、国直轄事業により平成24年から復旧工事が始まり、平成30年3月に完成しました。

湾口防波堤の完成により、地域経済の基盤である釜石港の一層の活性化が果たされ、物流の拡大や水産業振興による地域の復興実現が大きく前進することが期待されます。



資料・写真提供：釜石港湾事務所

大船渡市 「大船渡駅周辺地区第3期まちびらき」

都市計画課

平成30年4月28日、津波復興拠点整備事業「大船渡地区」において整備を進めてきた大船渡市防災観光交流センターが3月に完成したことなどから、大船渡市などの主催でまちびらきが開催されました。

＜ 大船渡駅周辺地区第3期まちびらきの概要 ＞

式典では、国、県、市、地元関係者ら約100名が出席し、快晴のもと大船渡東高校太鼓部の演奏や施設説明等が行われました。

式典に先立ち、日米友好の木ハナミズキ植樹記念プレート除幕式が、式典終了後は、防災観光交流センターの施設内覧会が行われました。

＜ まちびらき式典等の様子 ＞



▲防災観光交流センター 全景



▲テープカット



▲ハナミズキ植樹記念プレート除幕式
(在日米国大使館領事出席)



▲オープニングアトラクション
(大船渡東高校 太鼓部 演奏)



▲戸田 大船渡市長 主催者挨拶



▲佐々木 復興局長 祝辞(知事代理)



▲センター2階 多目的室



▲センター3階 展望デッキ



▲センター3階 展望デッキから市街地を望む

< 津波復興拠点整備事業「大船渡地区」の事業概要 >

(1) 事業概要

- ア 事業期間：平成 25～30年度
- イ 全体面積：約7.7ha
- ウ 総事業費：約60億円（うち大船渡市防災観光交流センター 約20億円）

(2) 大船渡市防災観光交流センター

- ア 建物規模：鉄筋コンクリート造3階建、延床面積 約3,200㎡
- イ 施設内容：1階（観光案内所、ピロティ等）、2階（多目的室、展示室等）
3階（展望デッキ等）、屋上（一時避難場所）

築川ダム建設工事 堤体コンクリート打設 **10万m³** 到達!



盛岡広域振興局土木部 築川ダム建設事務所

築川ダム建設（堤体工）工事では、ダム本体のコンクリート打設（打込み）作業を、平成29年4月から開始し、途中冬期休工を挟みながら、これまで約11か月間継続してきました。

このたび、**堤体積約22.8万m³のうち、打設量が10万m³に到達しました!**

今後も、2020年度の完成を目指し、安全第一で工事を進めていきます。



10万m³達成記念 平成30年5月23日

【築川ダム建設事業概要】

- ☞ **事業目的**
 - ・洪水調節
 - ・流水の正常な機能の維持
 - ・水道用水
 - ・水力発電
- ☞ **計画諸元**
 - ・堤高：77.2m（県営2位）
 - ・堤頂長：249.0m
 - ・堤体積：22万8千m³
 - ・総貯水量：1,910万m³（県営最大）
- ☞ **事業期間**
平成4年度から2020年度まで（予定）



平成29年3月撮影
【打設開始前】

打設11か月間



**↑ 33.0m
まで到達!**
進捗よ率
44%

平成30年5月22日撮影

築川ダム建設事務所では
工事現場見学会を
随時開催しています!



ご興味をお持ちの方は、お電話、ファクス、メールなどで、お気軽に築川ダム建設事務所までお問い合わせください。

・電話番号：019-652-8821

・ファクス番号：019-652-8822

・メール：BA0011@pref.iwate.jp

・ホームページ：岩手県公式HP

(びーえーせろせろいちいち@)

→ [やながわダム] で検索

みんなで防ごう土砂災害！

～6月は土砂災害防止月間です～



砂防災害課

近年、**台風、梅雨前線豪雨、地震**などによる**土砂災害**が全国各地で多発しています。

地球温暖化に伴う気候変動の影響により、**熱帯低気圧の強度が増大**するとともに、大雨の頻度も増加する可能性が高く、**土砂災害の増加、激甚化が懸念**されています。

平成 26 年8月に、広島県広島市で住宅地を襲った大規模な土砂災害により、多くの人的被害が発生したことは記憶に新しいところです。岩手県内でも、平成 28 年8月の**台風第10号に伴う豪雨**により、岩泉町を中心に県内8市町155箇所**で土砂災害が発生し、甚大な被害が発生**しました。

国土交通省では、土砂災害に防止に対する国民の理解と関心を深め、**土砂災害による人命、財産の被害防止、軽減**に資することを目的として、昭和58年から**6月を『土砂災害防止月間』**と定め、関係者が一体となり、土砂災害危険箇所の点検や広報活動など様々な取組を実施しています。

土砂災害危険箇所の点検

※写真は昨年度のものです



出前講座の様子

※写真は昨年度のものです



国・市町村・砂防ボランティア岩手県協会などの関係機関と連携して、土砂災害危険箇所の点検や出前講座等を実施予定

土砂災害写真パネル展

※写真は昨年度のものです



NPO 法人防災ネットいわてとの協働による『土砂災害写真パネル展』を、平成30年6月1日から15日まで、岩手県庁1階県民室において開催します。

県内外で発生した土砂災害や防災関係機関の取組等を紹介するパネルや、昨年度の土砂災害防止月間の行事の一環として小中学生から募集した「土砂災害防止に関する絵画・作文」の優秀作品を展示しておりますので、ぜひご覧ください。

土砂災害にはこんな前兆現象があります!

こんな現象を見たら…聞いたたら…早めに避難しましょう。
キケンな場所には近づかないようにしましょう。

※ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

<p>地すべり</p> <p>湧水量の増加 湧水の枯渇 池や沼の水位の急変 井戸水の濁り 落石・小崩落</p>	<p>土石流</p> <p>地鳴り 深流水位の激減 流水の異常な濁り 土臭いにおい 流木発生 流水の急激な濁り</p>	<p>がけ崩れ</p> <p>表面に流水が発生 小石がばらばら落下 湧水発生 湧水量の増加 湧水の濁り 地鳴り 斜面のふくらみ 湧水の停止 湧水の噴き出し 小石が頻りに落下</p>
<p>斜面のふくらみ 地鳴り・山鳴り 樹木の傾き 亀裂・設置の発生・拡大 地面の震動</p>	<p>深流内で転石の音 流木発生 流水の急激な濁り</p>	<p>斜面のふくらみ 湧水の停止 湧水の噴き出し 小石が頻りに落下</p>

土砂災害対策等に関するお問い合わせ

場所： 県庁7階 砂防災課

TEL: 019-629-5922・5923 (土砂災害対策担当) FAX: 019-629-9140

E-mail: AG0006@pref.iwate.jp

復興道路等の整備による「ストック効果」を紹介します！

【第7回】

ラグビーワールドカップ 2019™ の釜石開催を支援

ラグビーワールドカップ 2019™ 開催に向けた課題

- 2019 年に開催予定のラグビーワールドカップ 2019™ では、国内外から約 30 万人の観客が見込まれ、県内の宿泊地と試合会場への円滑な輸送が不可欠
- 国内の主要な宿泊地や首都圏からの玄関口である花巻空港や新幹線駅、花巻市等の主要宿泊地と釜石市を結ぶ安定したアクセスルートの確立が必要

ラグビーワールドカップ 2019™ の開催概要



- 試合日程
 - [2019 年 9 月 25 日(水)]
 - フィジー vs ウルグアイ
 - [2019 年 10 月 13 日(日)]
 - アフリカ地区代表 vs 敗者復活予選優勝チーム
- 来場者予測に基づく家用車は 2 日間で約 6,500 台
- その他、シャトルバスも運行予定

復興道路・復興支援道路情報サイトより引用

復興道路等の開通による釜石市へのアクセス改善、強化

2018 年度 東北横断自動車道釜石秋田線 全線開通 等 三陸沿岸道路 釜石 JCT~釜石北 IC 開通

- 道路の開通により内陸部と釜石市の移動時間が短縮されアクセス性が向上！
- 高速交通ネットワークをフル活用することにより、広域での宿泊先の確保が可能に！

釜石-花巻 東北横断自動車道釜石秋田線開通後 約 65 分
釜石-盛岡 東北横断自動車道釜石秋田線開通後 約 105 分

※ 岩手県内の三陸沿岸道路、東北横断自動車道釜石秋田線(東和~花巻を除く)は無料で利用できます。

花巻・盛岡等の主要都市が釜石から約2時間圏内に

➡

- ・ 県内各地の宿泊施設を活用
- ・ 観戦客が各地を回遊

➡

更なる波及効果が期待